

2019年2月5日

スズキ、2019年3月期第3四半期決算を発表

— 新興国通貨安に加え販売費用増加等により減益、業績予想は据置き —

1. 第3四半期決算の業績概況

当第3四半期の連結売上高は2兆8,388億円と前年同期に比べ1,139億円(4.2%)増加しました。営業利益は、インドルピーをはじめとする新興国通貨安の影響に加え、販売費用増加の影響等により10~12月期は7~9月期に続き前年割れとなりました。4~12月期の営業利益は2,565億円と前年同期に比べ33億円(1.3%)減少しました。

一方、経常利益は受取利息増加などもあり3,061億円と前年同期に比べ215億円(7.6%)増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,808億円と前年同期に比べ165億円(10.0%)増加となりました。

2. 各セグメントの状況

四輪事業につきましては、海外売上高は新興国通貨安の影響等により前年同期を下回りましたが、国内売上高が「スぺーシア」、「クロスビー」の販売貢献等により前年同期を上回ったことでカバーし、四輪事業の売上高は2兆5,966億円と前年同期に比べ1,070億円(4.3%)増加しました。営業利益は新興国通貨安に加え販売費用増加等により2,441億円と前年同期に比べ42億円(1.7%)減少しました。

二輪事業につきましては、売上高は1,822億円と前年同期に比べ12億円(0.7%)増加しました。営業利益は1億円と前年同期に比べ15億円減少しました。

マリン事業他につきましては、売上高は大型船外機「DF350A」の北米を中心とした販売貢献等により600億円と前年同期に比べ57億円(10.5%)増加しました。営業利益は北米での損益改善等により123億円と前年同期に比べ24億円(23.7%)増加しました。

所在地別の営業利益につきましては、日本、欧州、その他の所在地で増加しましたが、アジアで1,216億円と前年同期に比べ190億円(13.5%)減少しました。

3. 連結業績予想

連結業績予想につきましては、当第3四半期の実績を踏まえて各国での販売台数や為替前提等を見直しました結果、前回予想を据置きとさせていただきます。当社グループは一丸となってあらゆる分野での改革に取り組み、以下の連結業績予想以上を達成すべく事業活動を展開してまいります。

(連結業績予想…通期)

売上高	3兆8,000億円	(前期比 1.1%増)
営業利益	3,500億円	(前期比 6.5%減)
経常利益	3,900億円	(前期比 1.9%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,200億円	(前期比 2.0%増)

(為替レート) 1米ドル=110円、1ユーロ=127円、1インドルピー=1.58円、
100インドネシアルピア=0.77円、1タイバーツ=3.41円

以上

※連結業績予想については、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき算出したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、さまざまな要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル/円相場、ユーロ/円相場、インドルピー/円相場)などが含まれます。